



令和6年 3月15日
第500号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

目には見えないけれど大切なこと～心の目をもつ～

校長 飯塚 進

詩人の「金子みすゞ」さんは、「星とたんぼぼ」という作品をつくられています。その中で、「昼の星」や、「たんぼぼの根」を例にして、「目には見えないけれどそこにあるもの、目には見えないけれど大切なことがあること」を教えてくれている、と私は思っています。

私たちの身の回りにはたくさんの物があります。物は目に見えます。一方で、目には見えないけれど大切なことも、確かにたくさんあると思います。例えば、「友情」「愛情」「感謝」は目に見えません。「嬉しさ」「喜び」「悲しみ」「苦しさ」も物ではないので、目には見えません。

話は少し変わりますが、先日、「六年生を送る会」が行われました。5年生が中心になって、1年生から5年生が6年生への感謝の気持ちを表すという行事です。とても楽しく、活気があり、しかも温かいというすばらしい会でした。1年生から5年生は、それぞれが感謝の気持ちをどう表すかを考え、飾りや似顔絵、クイズや劇で表現してくれました。6年生もそのお礼を言葉や劇、ダンスで表現してくれました。お互いの感謝の気持ちがしっかり伝わることができました。だから感動できたのだと思います。

「目には見えないけれど大切なこと」は、言葉や行動で表せばよいということ子どもたちから学ぶことができます。うれしさや喜びはもちろんですが、悲しさやつらさもしっかり言葉や行動で伝えることが大切だと思います。「手伝って」「助けて」ということで周りの人に伝えることができます。

周りの人の立場で考えると、その人がどのような気持ちかを気付いてあげる、分かってあげることも大切だと思います。「心の目をもつ」と言えばよいのかと思っています。東豊小学校の子どもたちには、今まで以上に「心の目をもつ」「心の目をみがく」ことができる人に育ってほしいと願っています。

いよいよ今年度も残すところわずかとなりました。今年は例年になく降雪量の少ない冬でした。一段と春を感じるとともに、卒業式が近づき、進学、進級を意識するため、喜びも緊張感も感じる季節となりました。今年度も、感染症等、御心配や御迷惑をおかけすることがあった1年間ではありましたが、充実した1年間を終え、年度末を迎えることができます。保護者、地域の皆様には、東豊小学校を見守り、支えていただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。